

＜今日の説教のポイント マタイによる福音書 27 章 45～56 節＞

①理解できないことだらけ？ — 十字架でイエス様が亡くなられる記事。

「**わが神 わが神、なぜわたしをお見捨てになったのですか**」(46)とイエス様が叫ばれた？ 多くの死人が墓から出て来て都に入って現れた(53)？ 全地が暗くなり、地震などの天変地異が起こった(45, 51, 54)？ 理解できないこと、信じられないことが多過ぎる？ 否！ 「信じられない」と簡単に決めつけしないで、なぜそんなことを記しているのかを考えることが大事なのです。

②理解できるために — 記事の背景にある旧約聖書に注目する必要あり！

実は、イエス様の叫びは旧約聖書の詩編の22編の冒頭に出て来ます。この詩編の最後は神様への信頼を歌って閉じます。地震が起こり地が割れたと、旧約聖書にはしばしば出て来ます。それは神様の顕現の場面であり、人間の罪が関係している所です(出エジプト記19章後半、イザヤ書29章6節、ナホム書1章1-5節)。詩編69編22節には、「人はわたしに苦いものを食べさせようとし、**渴くわたしに酢を飲ませようとし**ます」とあります。500年前に書かれたイザヤ書53編を読むと、自分たちの罪が赦されるために自らを犠牲に捧げた者についての詩が記されています。すなわち、このイエス様の十字架の死の記事は、旧約聖書の色々な箇所の意味が分かって初めてその意味が分かる記事なのです。

③イエス様の死の意味 — 特にマタイが伝えようとしていることは何？

この記事は4つの福音書が皆載せています。そして読み比べると、それぞれがどの点に力を入れて記しているかが分かります。このマタイ福音書の特徴の一つは、死人が生き返って来たという記事です。ただし、それは「**イエスの復活の後**」(53)に起こったと明記している点が大事です。私たちの罪のために死なれたイエス様。そのイエス様が復活されたということは私たちの罪が赦されることを示すと共に、罪の最大の報いである死も打ち破られたのだ、そういうことをマタイは伝えようとしたのです！ 「罪」の原語の意味は「的を外して矢を射る」です。神様という的を外して生きていた私たち。その私たちがイエス様によって、再び真の神様という的を目標けて生きる生き方に戻れるのです！ そのために神様は独り子イエス様を私たちにお与え下さったのです。イエス様の十字架の死の記事は、この神様の恵みの業を知らせようとする聖書全体の中の一部であり、同時に一番大事な箇所でもあるのです。この聖書の恵みの神様の御言葉に聞いて生きる歩み、それが信仰者の歩み、人生なのです！ 来週は復活について聞きます。